

スクールトピックス

猪苗代高が町内事業所で就業体験

猪苗代高の2年生は7月8日から10日までの3日間、町役場や消防署、道の駅猪苗代など町内8事業所でインターンシップ(就業体験学習)を行いました。このうち3人が役場の仕事を体験。五十嵐歩さんと田中絵玲菜さんは農林課で、電気柵を設置したり、書類のファイリングやデータ入力などを行いました。筑井花さんは商工観光課で、中心市街地を活性化させるための企画書作りや意思決定・行動のための手法などを学びました。



電気柵を設置する田中さん(左)と五十嵐さん



○田中絵玲菜さん(写真左) インターンシップを通して、自分の将来についてしっかりと考えることができました。進路の選択に生かしていきたいと思います。

○五十嵐歩さん(写真中央) 役場の仕事は、事務作業ばかりだと思っていましたが、職員が電機柵まで設置していて驚きました。

○筑井花さん(写真右) 企画書を作るにあたり、実際に現場に行き生声を聞いて為になりました。将来は地方公務員になりたいです。

青少年の主張猪苗代町大会

青少年メッセージ 2025 第38回青少年の主張猪苗代町大会は7月19日、学びいなかで開かれました。大会には町内の小・中・高校から推薦された10人が参加。家庭や学校で考えたり取り組んでいること、将来の夢などについて、堂々と力強く発表しました。審査の結果、猪苗代第二小6年の穴澤陽向さん、猪苗代中3年の福地陽さん、猪苗代高3年の小坂橋みくるさんが最優秀賞を受賞。このうち、福地さんが特別賞に輝きました。



1

1_働くことで私たちは社会とつながっていると発表した福地さん(猪中)
2_動物の殺処分問題について力強く訴えた穴澤さん(二小) 3_地域探究活動を通して地域の人たちと関わり、成長できたことを発表した小坂橋さん(猪高) 4_発表者と審査員の皆さん



2



3



4

「笑顔つむぐリレー」

町合併70周年のキャッチフレーズ「笑顔・つむぐ・未来」にちなんで、町民の皆さんの笑顔とともに、その人の知っている猪苗代町を紹介していきます。



撮影場所：土津神社

小林 敏雄 さん (富永・58歳)

Q猪苗代町のおすすめの(好きな)場所は？

土津神社。
境内にある腰掛けに座り深呼吸すると、心が穏やかになります。自分を見つめ直すことができる癒しの場所です。

Q猪苗代町のおすすめの食べ物は？

猪苗代産のお米や野菜。
会津産ひとめぼれは、味も粘りも艶も全てが良く、新潟魚沼産コシヒカリと並ぶほどに、本当に美味しいお米です。

Q猪苗代町での思い出の場所は？

志田浜。
今から41年前、車の運転免許を取ったばかりのころ、友人たちを乗せて初めてドライブしたときに志田浜の砂浜から見た、磐梯山と猪苗代湖の雄大な姿には感動しました。

地域おこし協力隊通信



Instagram



Facebook



私たちが地域を元気に！

地域おこし協力隊

りりか
平木 梨里香さん

主な活動内容：中心市街地、温泉街等の活性化支援

4月に商工観光課の地域おこし協力隊に着任した平木です。3月までは、地元の神奈川県横須賀市で鍼灸あん摩マッサージ指圧師として働いていました。伝統こけしを作りたいという子どもの頃からの夢を叶えるため、思い切って中ノ沢こけし工人の瀬谷幸治さんに弟子入りし、猪苗代町に移住してきました。

その土地の伝統文化を受け継ぐのであれば「地域に根ざした活動がしたい」という思いから、地域おこし協力隊に応募しました。現在は、中心市街地や温泉街の賑わい創出を目的とした活動を行いながら、地域の人たちと関わる中で、少しずつ猪苗代町の現状や魅力、課題を学んでいます。

着任してから来月で早くも半年が経ちますが、「猪苗代町の多様な側面を知ること」と「地域の皆さんとの関係性を築きつつ持続的な活性化に向けた基盤作りを進めていくこと」が今の自分のテーマです。

地域活性化と伝統文化の継承の両立を目指し、猪苗代町の魅力を内外に発信していきますので、どうぞよろしくお願ひします。